学校番号	3030

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	倫政演習	単位数	１単位	年次	３年次 （後期）
使用教科書	「詳述　政治・経済」（実教出版）「詳述倫理」（実教出版）						
副教材等	「最新政治・経済資料集 2025」　（第一学習社） 「テオーリア　最新　倫理資料集」（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

政治・経済の学習については、１年次に学習した公共の政治分野の知識と２・３年次に学習した経済分野の知識をもとに、現代経済と福祉の向上について学習する。日本の政治・経済、国際政治・経済のそれぞれが相互に密接な関係を持っていることを認識し、現代社会の諸課題について、その解決方法についても考察し、自分の考えを形成する。普段より、様々なメディアを通じてもたらされる情報に多く接し、知識量を増やすとともに、多様な価値観を学び、他者への理解を深めることが、同時に自己の考えを自ら検証し、客観性を獲得することにつながる。
倫理の学習については、前期で学んだ「人間とは何か」「人間としていかに生きるべきか」という課題のさらなる探究と、自身の世界観・人生観の形成を高校生活３年間の総体性として、先哲の思想や諸学説をヒントに、と複雑化する現代社会において私たちはどのように生きていくべきか、ということを考察してもらいたい。

2　学習の到達目標

国内や国際社会における経済の諸課題を認識する。さらに国内政治・国際政治と、国内経済・国際経済が相互に密接に関係していることを実感し、その課題の解決には、政治・経済についての総合的な評価や判断が必要であることを理解し、多様な価値観をふまえて冷静に判断、考察をする態度を身につける。また自身の意見をまとめ・表現する力を身につけることもめざす。
倫理的諸課題についても上記と同様に、現状認識から更なる関連性を実感し、多様な価値観をふまえて冷静に判断、考察をする態度を身につける。また自身の意見をまとめる力を身につけることもめざす。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代社会と人間に関わる様々な文献、メディアなどの情報、教科書や資料集などの教材を用い、基本的な社会のしくみや現代社会の諸課題についての知識を身につけ、正確かつ有用な情報を適切に選択し、効果的に活用する技能を身につける。 上記内容について、倫理学習においても同様な技能を身につけている。	現代の諸課題について、広い視野に立って、多面的・多角的に考察し、公正かつ客観的に判断し、自分の意見や価値観を形成し、その意見や判断の根拠などを明確かつ適切に表現している。経済活動と福祉の向上との関連についても多面的・多角的に考察し、表現できる。 上記内容の、特に前半部分において、倫理学習でも同様な思考力、判断力、表現力を養うようにする。	現代の諸課題について、関心を持ち、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的な社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につける。さらには世界の平和や個人の尊重が大切であるという意識を持ち、人権意識を高く持ち、自分にできることは何かを主体的に考える態度を身につけている。 上記内容について、倫理学習においても同様な主体的に学習に取り組む態度を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	現代経済と福祉の向上	経済の停滞と再生 中小企業と農業 国民の暮らし 労働問題と社会保障	a:経済の諸課題に関して基本的な知識を有し、その歴史について理解している。 b:現代社会の経済のしくみがなぜ取り入れられたかを多面的に考察・表現することができる。 c:積極的に意見を出し合い、社会の諸課題について常に関心を持ち、様々な資料を考察に活用しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	課題 提出ノート 観察
	現代の諸課題と倫理	生命倫理 環境倫理 家族・地域社会 情報化社会 異文化の理解 人類の福祉	a:倫理面における現代の諸課題に関して基本的な知識を有し、その現状について理解している。 b:現代社会における上記の倫理的諸課題が、なぜ問題となっているかを多面的に考察・表現することができる。 c:積極的に意見を出し合い、現代の諸課題について常に関心を持ち、様々な資料を考察に活用しようとしている。	定期考査	定期考査 追加課題	追加課題 提出プリント 考査前特別指導

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度